

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立鴨方高等学校		
実践者等		仙田倫太郎	実践日	令和3年8月26日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		現代文A 「新聞記事を読んで意見文を書く」		
対象生徒(学年等)		2学年(全クラス)		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化		
	☒ その他()			
家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着			
実践の内容				
【授業】 8月26日にChromebookで2年生全員受講の現代文AのClassroomに授業動画とFormsによる課題を配信した。8月の読売新聞にて連載されたコラム「#しんどい君へ」を用いた課題作文である。内容は芸能人やアーティストが自身の多感な青年時代の苦悩や挫折、そこから現在に至るまでの軌跡を赤裸々に綴り、新学期を迎える子どもたちへエールを送ったものである。そのコラムをFormsに掲載し、「印象に残った表現は何か」「あなたの大切な人が生きることについて苦しんでいたとしたらどんな言葉がけをするか」「いじめに苦しむ人が1人でもいなくなるためには、どのようなことが必要だと思うか。社会や学校、家庭の取組なども視野に入れて答えよ」などの設問を作った。文章読解が苦手な生徒もいるので、Microsoft PowerPointにて文章読解のヒントとなるスライドを用いて自身の授業をChromebookで録画し、Formsと同じタイミングでClassroomに配信した。生徒の取組状況は73名の割り当てに対して回答したのが18名と、回答率は低かったものの、各々の個性に富んだ記述内容が見られ、文集として紙面に載せ、新学期の授業時に配付した。				
二つの文章に共通するメッセージは何か、書きなさい。複数可。 悪いのは相手。苦しみは必ず終わる。人間は変われる。時間が経てば状況は変化する。 など ※授業配信の際に用いたPP 「#しんどい君へ」読売新聞掲載。読者の心を揺るがす大々的な話題。著者(本人)の自伝的なエッセイ。著者の自伝的な				